

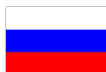
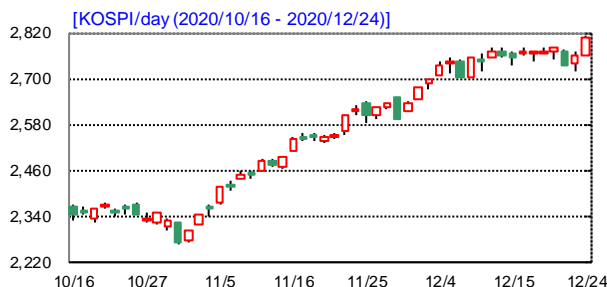


【韓国】 総合指数は 1.3%高と 8 週続伸、今週は 2800 ポイント付近でもみ合いか

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で 1.3%高と 8 週続伸。25 日がクリスマスで休日のため 4 日間の取引だった。国内の新型コロナウイルス感染の第 3 波を抑える新たな制限措置が景気を悪化させるとの懸念がくすぶったものの、ハイテク株や医薬品株の上昇が相場を押し上げた。週明け 21 日は小幅に続伸。英国で新型コロナウイルスの変異種が確認されたことが嫌気され、22 日に下げたが、23 日から再び続伸。24 日終値は初めて節目の 2800 ポイントを上回り、過去最高値を更新した。今週は大みそかと元日が休場のため 3 日間の取引。2800 ポイント付近でもみ合いか。利益確定売りコロナワクチン供給の増加を好感する買いが交錯しそうだ。難航していた英国と欧州連合 (EU) の自由貿易協定 (FTA) 交渉の妥結は投資家心理を支えそうだ。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は 1.7%安と続落、今週はコロナ感染とワクチン動向が焦点か

先週の動き／今週の展望

RTS 株価指数は週間で 1.7%安と続落。コロナウイルス変異種の感染拡大や原油安を受けて週明けに大幅安となったが、その後は 4 日続伸し、下げ幅を縮めた。指数は週明け 21 日に前営業日比 4.7%安と大幅続落。英国での新型コロナウイルス変異種の感染拡大やブレント原油の 4%超の下落、為替相場での米ドルに対するルーブル安などが嫌気された。指数は 21 日に 1326.65 ドルと一時、3 月 4 日以来の水準まで下落したが、欧州株の上昇を受けて 22 日に 1.2%高と反発すると、25 日まで 4 日続伸し、1378.36 ドルまで下落幅を縮小した。個別ではアルミのルサルが 5.5%安、エネルギーのガスプロムが 3.6%安、空運のアエロフロート・ロシア航空が 3.2%安だった。今週はコロナ感染拡大、ワクチン普及、原油相場が焦点か。

▼指数チャート



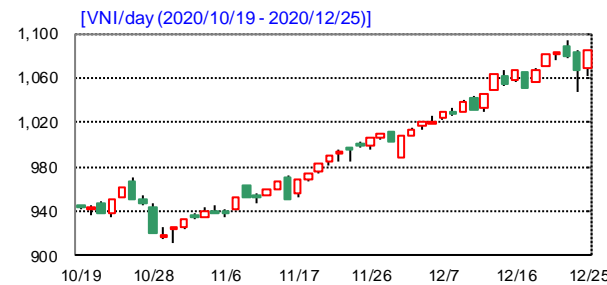
【ベトナム】 ベトナム指数は 1.6%高と 8 週続伸、今週は高値警戒感からもみ合い

か

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で 1.6%高と 8 週続伸。経済成長見通しを背景に景気敏感株が買われ、指数は 2 年 8 カ月ぶりの戻り高値を更新した。前週まで 7 週続伸し 2018 年 5 月 16 日以来、2 年 7 カ月ぶりの水準を回復した指数は週明け 21 日も証券株などに資金が流入し、前営業日比 1.3%高。高値警戒感から 23-24 日は続落したものの、25 日は海外投資家が売り越しとなる中、大型株が買われ、指数は 1.6%高と反発して終了した。VN 指数は 23 日に 1094 ポイントまで上昇し、1084.42 ポイントと 2018 年 4 月 20 日以来の水準を回復して終えた。個別では、ゴム製品のベトナム・ラバーが 14.8%高、鉄鋼のホア・ファット・グループが 5.6%高、不動産のビンホームズが 2.7%高となり、指数を押し上げた。今週は高値警戒感からもみ合いか。

▼指数チャート



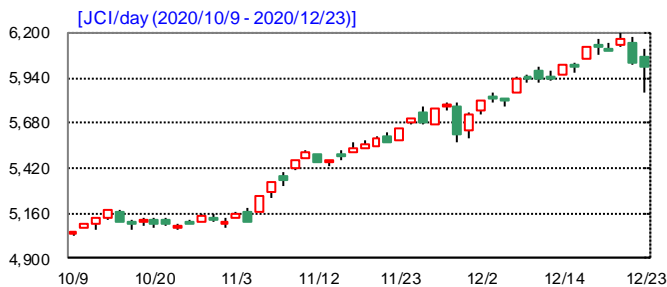


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 1.6%安、欧州での新型コロナウイルス変異種の感染拡大を嫌気

ジャカルタ総合指数は 3 日間の取引で 1.6%安と 12 週ぶりに反落。欧州を中心とした新型コロナウイルス変異種の感染拡大が指数を押し下げた。21 日は前週後半に下落した反動で、前営業日比 1.0%高と 3 日ぶりに反発。個別の銘柄では、前週から好調が続く通信大手インドサットが大幅に上昇した。22 日は世界各国で都市封鎖の強化に対する懸念が広がった影響で、前日比 2.3%安と反落。23 日も買い材料に乏しく、続落して連休前の取引を終えた。今週も国内の経済イベントが少なく、中国で 31 日に発表される 12 月の公式製造業 PMI などの外部要因が焦点になりそうだ。31 日は大みそか、1 日は元日のため休場。

▼指数チャート

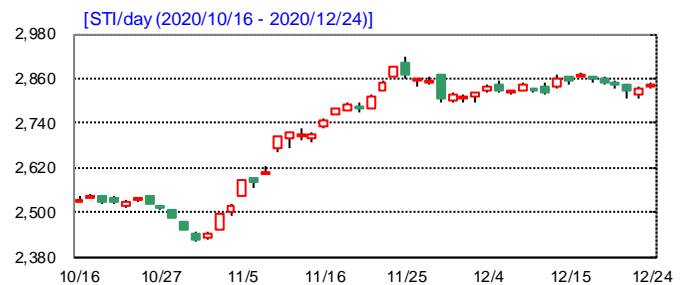


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレーツタイムズ指数は 0.2%安、11 月の鉱工業生産はエレクトロニクス部門が好調

ストレーツタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.2%安と反落。小幅なレンジでの値動きが続いた。週初の 21 日に 3 営業日続落すると、22 日は世界的な新型コロナウイルスの感染再拡大を受けてシンガポール航空が下げを主導。一方、23 日に反動で買い戻されると、半日立ち合いとなった 24 日は、薄商いの中、続伸して連休前の取引を終えた。24 日の取引終了後に発表された 11 月の鉱工業生産は、エレクトロニクス部門の好調で、前年同月比 17.9%増と市場予想から上振れしている。今週は国内の経済指標発表が少なく、外部要因に左右される展開か。31 日は大みそかのため半日立ち合い、1 日は元日の祝日で休場。

▼指数チャート



【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 0.3%高、バンコク近郊で集団感染発生も週後半の上昇で反発

SET 指数は週間で 0.3%高と反発。週後半の上昇が奏功した。週初の 21 日は、バンコクに隣接するサムットサコン県で新型コロナウイルスの集団感染が発生した影響で売られ、指数は前営業日比 5.4%安と大幅続落。22 日は場中に一時、1400 ポイントを割り込んだものの、終値では前日比 1.6%高と反発した。23 日は中央銀行が 21 年の経済成長率見通しを下方修正したことが嫌気されて反落したが、週後半は近隣市場が休場となる中、24 日は前日比 2.5%高、25 日はさらに 2.4%高と上値を広げた。今週は 28 日発表の 11 月の鉱工業生産に対する市場の反応が焦点。31 日は大みそか、1 日は元日の祝日で休場となる。

▼指数チャート

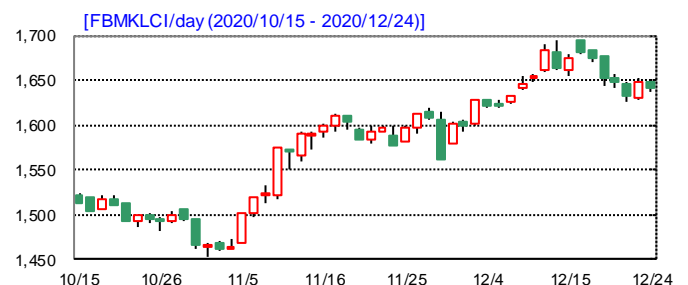


【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.7%安、今週は 11 月の貿易統計が焦点か

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.7%安と続落。買い材料に乏しく、不安定な値動きが続いた。週初の 21 日に 3 営業日続落すると、22 日は新型コロナウイルスの感染拡大を受けてゴム手袋メーカー株が上昇したものの、金融株などに利益確定売りが出て指数は前日比 1.0%安。ムヒディン首相は 22 日、英アストラゼネカ製のワクチン 640 万回分の調達契約締結を発表したが、買い材料視されなかった。その後は 23 日に反動で買い戻され、前日比 1.0%高と反発した一方、24 日は再び反落して引けている。今週は 28 日発表の 11 月の貿易統計に対する市場の反応が指数を左右する展開か。1 日は元日のため休場。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。